

平成25年度 学校経営計画票

練馬区立開進第一小学校

|                                                              |  |  |
|--------------------------------------------------------------|--|--|
| <b>学校教育目標：</b><br>一とともに生きるー      ・かしこい子    ・やさしい子    ・たくましい子 |  |  |
|--------------------------------------------------------------|--|--|

|                                                                                                                                |  |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| <b>目指す学校像(ビジョン)</b><br>◎学校像      (1) 児童にとって明るく楽しい学校      (2)教職員が指導に喜びをもてる学校      (3)保護者や地域から信頼できる学校      (4) 児童が安全で安心して生活できる学校 |  |  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|

| 領域        | 中期経営目標                 | 短期経営目標                             | 具体的方策                                                            | 評価指標・評価基準                        |                                    |
|-----------|------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
|           |                        |                                    |                                                                  | 努力指標                             | 成果指標                               |
| 学力の定着・向上  | 基礎・基本の学力の定着を図る         | わかる授業を目指す。                         | 分かる・楽しい授業に努める。（言語活動の充実、研究「読むことを通して」を大切に）<br>※児童アンケートでチェック        | 4 実践授業・授業交流を3回以上行う。              | 4 授業がわかる児童が90%以上だった。               |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 実践授業・授業交流を2回以上行う。              | 3 授業がわかる児童が80%以上だった。               |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 実践授業・授業交流を1回以上行う。              | 2 授業がわかる児童が70%以上だった。               |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 実践授業・授業交流はできなかったこと。            | 1 授業がわかる児童が70%未満だった。               |
|           |                        |                                    |                                                                  | 4 朝読書指導ができたのが90%以上。              | 4 読書の楽しさがわかる児童が80%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 朝読書指導ができたのが80%以上。              | 3 読書の楽しさがわかる児童が70%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 朝読書指導ができたのが70%以上。              | 2 読書の楽しさがわかる児童が60%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 朝読書指導ができたのが70%未満。              | 1 読書の楽しさがわかる児童が60%未満だった。           |
|           |                        | 授業規律の確立を図る。                        | チャイムと同時に授業開始を心掛ける（児童アンケートでチェック）                                  | 4 チャイムと同時に授業開始できたのが80%以上。        | 4 チャイム着席が守れた児童が80%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 チャイムと同時に授業開始できたのが70%以上。        | 3 チャイム着席が守れた児童が70%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 チャイムと同時に授業開始できたのが60%以上。        | 2 チャイム着席が守れた児童が60%以上だった。           |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 チャイムと同時に授業開始できたのが60%未満。        | 1 チャイム着席が守れた児童が60%未満だった。           |
| 豊かな人間性の育成 | やさしく・思いやりのある児童の育成。     | 道徳教育の充実を図る。                        | ジドウ ココロ セマ キョウザイ タンキョウ<br>児童の心に迫る教材を探索したり作成したりする。                | 4 感動する教材が85%以上。                  | 4 道徳は役に立ったと思う児童が85%以上だった。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 感動する教材が75%以上。                  | 3 道徳は役に立ったと思う児童が75%以上だった。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 感動する教材が65%以上。                  | 2 道徳は役に立ったと思う児童が65%以上だった。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 感動する教材が65%未満。                  | 1 道徳は役に立ったと思う児童が65%未満だった。          |
|           | 活力のある児童の育成。            | 一人ひとりを大切にする生活指導をする。                | いじめやイタズラなどの暴言・暴力などの根絶についての取り組みをする。                               | 4 学年取り組みを3回以上は実施。                | 4 いじめやイタズラなどの違反をしない児童が95%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 学年取り組みを2回以上は実施。                | 3 いじめやイタズラなどの違反をしない児童が85%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 学年取り組みを1回以上は実施。                | 2 いじめやイタズラなどの違反をしない児童が75%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 学年取り組みを実施しなかったこと。              | 1 いじめやイタズラなどの違反をしない児童が75%未満だった。    |
|           |                        |                                    | 教育相談の充実を図る。                                                      | 4 全ての児童に3回は相談機会を設けること。           | 4 教育相談を有意義と感じる児童が80%以上いた。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 全ての児童に2回は相談機会を設けること。           | 3 教育相談を有意義と感じる児童が70%以上いた。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 全ての児童に1回は相談機会を設けること。           | 2 教育相談を有意義と感じる児童が60%以上いた。          |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 全ての児童に相談機会を設けることができなかったこと。     | 1 教育相談を有意義と感じる児童が60%未満だった。         |
|           |                        | あいさつをよくする児童を育成する。                  | 課題のある児童や不登校児童に組織的な取り組みをする。（管理職・スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・養護教諭・生活指導部等） | 4 教職員や関係者等と協力し組織的な取り組みができたこと。    | 4 不登校気味の児童が90%減少した。                |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 教職員や関係者等と協力し組織的な取り組みがほぼできたこと。  | 3 不登校気味の児童が80%減少した                 |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 教職員や関係者等と協力し組織的な取り組みがあまりできなかった | 2 不登校気味の児童が70%減少した                 |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 教職員や関係者等と協力し組織的な取り組みができなかったこと。 | 1 不登校気味の児童が減少しなかった。                |
|           |                        |                                    | あいさつ運動の活性化に努める。（正門でのあいさつ運動やあいさつ標語作りなど）                           | 4 あいさつ運動に3回以上参加すること。             | 4 あいさつをよくするようになったと意識する児童が90%以上だった。 |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 あいさつ運動に2回以上参加すること。             | 3 あいさつをよくするようになったと意識する児童が80%以上だった。 |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 あいさつ運動に1回以上参加すること。             | 2 あいさつをよくするようになったと意識する児童が70%以上だった。 |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 あいさつ運動に参加できなかったこと。             | 1 あいさつをよくするようになったと意識する児童が70%未満だった。 |
| 信頼される学校   | 地域と連携を深め、地域に根付いた教育の推進。 | 地域人材を活用し、学習の活性化を図る。                | 地域の人材バンクを充実し、活用する。                                               | 4 全学年が地域の人材バンクを活用すること。           | 4 地域に対して感謝の気持ちが高まった児童が80%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 5学年が地域の人材バンクを活用すること。           | 3 地域に対して感謝の気持ちが高まった児童が60%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 4学年が地域の人材バンクを活用すること。           | 2 地域に対して感謝の気持ちが高まった児童が50%以上だった。    |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 3学年が地域の人材バンクを活用すること。           | 1 地域に対して感謝の気持ちが高まった児童が50%以上だった。    |
|           | 地域と連携した幅広い教育を進める。      | 家庭及び地域社会と連携して安全マップを活用し、安全指導の充実を図る。 | 学区の安全を見直す取り組みを年4回以上計画し実践すること。                                    | 4 学区の安全を見直す取り組みを年4回以上計画し実践すること。  | 4 安全な登下校ができるようになった児童が90%以上だった。     |
|           |                        |                                    |                                                                  | 3 学区の安全を見直す取り組みを年3回以上計画し実践すること。  | 3 安全な登下校ができるようになった児童が80%以上だった。     |
|           |                        |                                    |                                                                  | 2 学区の安全を見直す取り組みを年2回以上計画し実践すること。  | 2 安全な登下校ができるようになった児童が70%以上だった。     |
|           |                        |                                    |                                                                  | 1 学区の安全を見直す取り組みを年1回以上計画し実践すること。  | 1 安全な登下校ができるようになった児童が70%未満だった。     |